

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所に、家族以外の地域の方の訪問がほとんどないのが現状。運営推進会議で、おやつ作り等のボランティアの依頼をしているが、実際、行動に移せていない。	利用者が、地域とつながりながら暮らすことができる。	・季節の行事の食事作りやおやつ作り等を企画し、運営推進会議や第三者委員会の時に依頼をする。 ・認知症カフェを開き、地域の方と利用者と一緒に作業や交流の場を作り上げる。	12か月
2	12	職員が年をとってきている中、夜勤の拘束時間が長く疲労感がある。仕事に対するモチベーションも低い状態で、入居者と関わる事が少なくなっている。	職場の環境改善を図り、職員が向上心を持ち働くことができる。	・会議の場で職員と一緒に業務時間の見直しをする。お試し期間を設け改善する。 ・職員と面談を行い、各自の仕事に対する考えを把握する。働きやすい職場にする為改善策を職員皆で考える。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。